

Lecture 授業No.3 教科書P.14～

T.Q.「最古の法典とは何か？ またその内容とはどういうものか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.14～

T.Q.「最古の法典とは何か？ またその内容とはどういうものか？」

1. シュメール人
2. ウル
3. アッカド人
4. アムル人
5. ハンムラビ
6. 復讐

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. メソポタミア文明の担い手（民族、国家）
2. メソポタミア文明の文化
3. インド＝ヨーロッパ語族の進出

二章 オリエンとギリシア・ローマ

1 オリエン

T.Q.「最古の法典とは何か？

またその内容とはどういうものか？」

教科書P.14～

① メソポタミア文明

(1) 都市 国家の分立 ex. **ウル**、ウルク ※1
...**シュメール人**(語族不明)による

(2) **セム語族**の王国

1 **アッカド王国**...アッカド人による

→サルゴン1世 がメソポタミア初統一

2 **古巴ビロニア王国**...**アムル人**による 都__**バビロン**

→**ハンムラビ王**がメソポタミア再統一

☆ **ハンムラビ法典**... **復讐法** 「目には目を、歯には歯を」

(3) 文化 身分の差が大きい ※2

1 **楔形文字**(と粘土板) ※3 2 **太陰暦**...月の変化による

3 一週七曜制...5星十日・月 4 **六十進法**

1/2枚目のスライドはここまで！

(3) 文化

- 1 楔形文字(と粘土板)
- 2 太陰曆...月の変化による
- 3 一週七曜制...5星十日・月
- 4 六十進法

——— ここから

(4) インド = ヨーロッパ 語族 の 進出

...中央アジア・南ロシアから、馬と戦車とともに [※4](#)

- 1 ヒッタイト王国 (B.C.18C ~ B.C.12C)

...小アジアに成立。製鉄法の発明。

→「海の民」(語族不明)に滅ぼされる

- 2 カッシート王国...バビロニアに成立

- 3 ミタンニ王国...北メソポタミア ~ シリアに成立

最後のスライドはここまで!

[※T. A. まとめスライドへ](#)

T.Q.「最古の法典とは何か? またその内容とはどういうものか?」

教科書P.14~



※1

クリックで、
「洪水伝説」
が事実
だった証拠！

↑解説 ユーフラテス川下流のシュメール人都市国家。城壁で囲まれた周囲約3kmの都市の中心に聖域があり、高さ約25mのジツグラト(聖塔)がそびえていた。地質学的に大洪水のあったことが検証されている。

ハンムラビ法典

バビロン第1王朝のハンムラビ王(前18世紀頃)が編纂。1902年、フランスの調査隊がスサで発見。上部にハンムラビ王が太陽神シャマシュから法典を授かるレリーフがある。その下の400行から成る法は、前文・条文(282条)・後文で構成。「目には目を、歯には歯を」の復讐法と身分法の原則から成る刑法部分が有名。楔形文字はアケメネス朝ペルシア滅亡のころまで全オリエント世界で使用された。



書かれた楔形文字

④ ろまで全オリエント世界で使用された。

⑤ 法典を授かるハンムラビ王(左)



ハンムラビ王

太陽神
シャマシュ

④ハンムラビ
法典

高さ2.25m
直径0.6m
スサで発見
ルーヴル美術
館蔵

196. もし人が「人の息」*1の眼を潰したるときは、〔彼等〕彼の眼を潰す。

197. もし人の骨を折りたるときは、〔彼等〕彼の骨を折る。

198. もしムシュケーヌム*2の眼を潰し、或いは又ムシュケーヌムの骨を折りたるときは、銀1マナーを支払う。

199. もし人の奴隷の目を潰し、或いは又人の奴隷の骨を折りたるときは、〔彼は〕其の価の半を支払う。

(原田廣吉『楔形文字法の研究』)

*1 自由民 *2 半自由民

クリックで、
身分差
が大きかったこと
を示す条文

※3

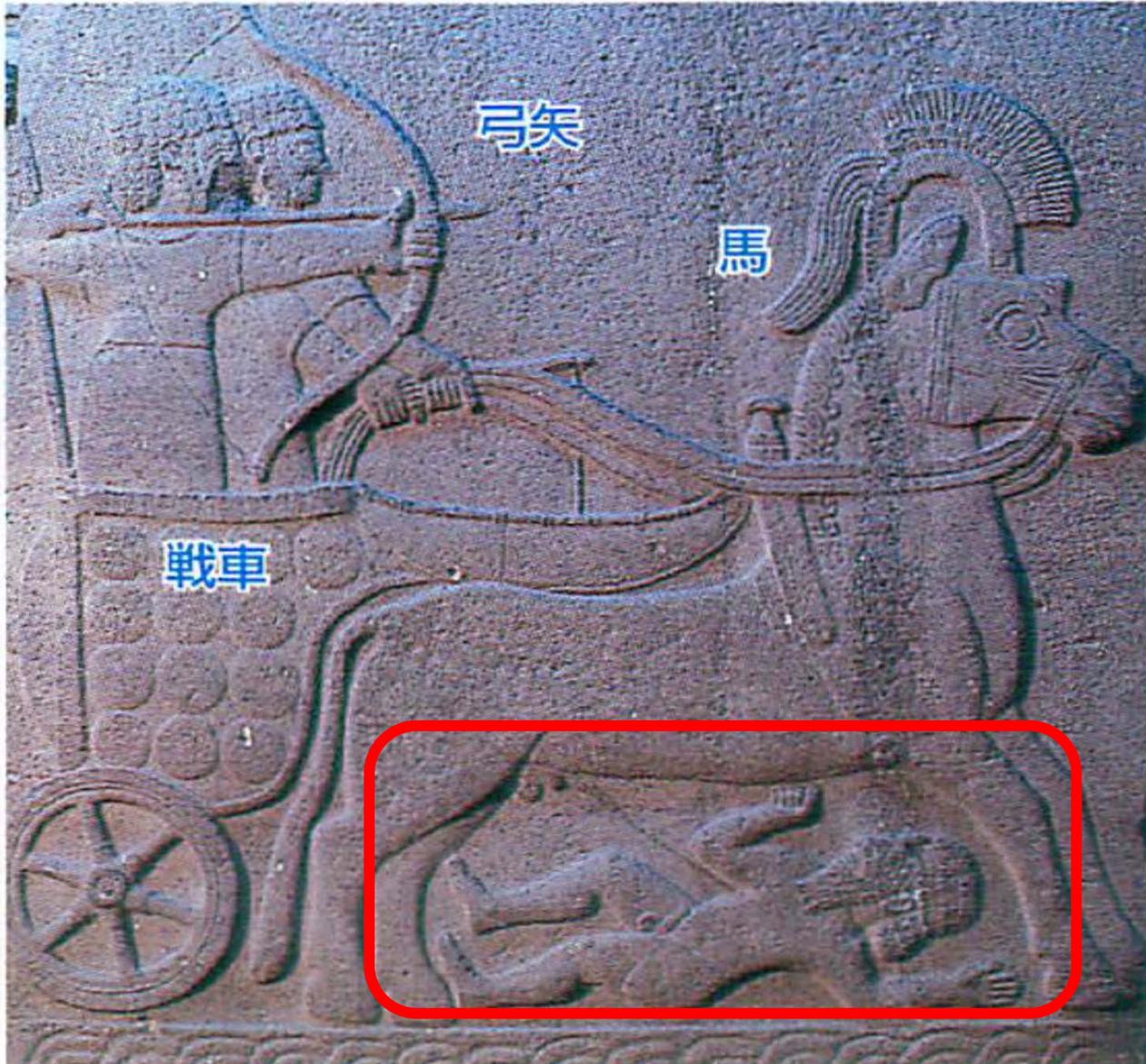


ハナムラビ法典に
書かれた楔形文字
くさびがた

クリックで、薪割りに使用する
鉄製のくさび

📌 **ヒッタイトの戦車** ヒッタイトは世界で最初に鉄製武器を実用化した。戦車・馬の活用により軍事力・機動力に優れていた。

※4



クリックで、
戦車から発射
された矢を受けて
倒れる敵兵

世界史B 授業No.3

T.Q.「最古の法典とは何か？ またその内容とはどういうものか？」

B.C.18C頃、古バビロニア王国(バビロン<都の名前>第一王朝)の6代国王ハンムラビが、シュメール人が発明した楔形文字を用いてハンムラビ法典を作った。これは神権政治の下で他民族の民を治めるために「神が授けた」とされている。刑法は復讐法の原則で「目には目を歯には歯を」で知られているが、一般人と奴隷の間に身分の差が大きかったことが分かる。